

「はきはき」  
「きらきら」  
「にこにこ」  
「わくわく」



わかば幼稚園だより  
令和5年 6月23日

## 子どもの心を育てましょう

園長 井口 観 慈

わかば幼稚園の大イベントである「運動会」が明日に迫りました。約1ヶ月前から練習を開始し一生懸命取り組んできました。園児たちも職員も本番を前に盛り上がっています。当日は、園児の頑張りに大きなご声援をよろしくお祈りします。

さて、子どもの健やかな成長を願わない親はありません。心も体も豊かに成長してほしいと願いながら、お子さんを育てていらっしゃると思います。園も同じ気持ちで毎日の教育活動を行っております。

ところが、最近では「ムカツク」「キモイ」などといった言葉が子どもたちの口から日常的に聞かれ、同時に友だちやまわりの大人に対しても、非常に攻撃的で反抗的な態度をとる子どもが目につくようにもなりました。このような子どもの心の荒れをどうにかするために、幼児期からの心の教育のありかたを、今一度見直してみることが必要なのではないかと思えます。そこで………、



**可愛くば 五つ教えて 三つ褒め**

**二つ叱って よき人となせ**

「叱る」と「小言」には、真剣さに差があります。「褒める」は「機嫌取り」ではなく、子どもの自信を大きく伸ばすことです。一番難しいのは「教える」ことです。それは親子の間に甘えが出たり、我慢ができなかったりするからです。さらに、難しいのは「教えたり」「褒めたり」「叱ったり」する基準です。父親と母親では違うこともありますし、どんな子に育ててほしいかという親の願いの反映でもあるのです。夫婦で一致した基準をもちたいものです。

もう一つ、「教える」「褒める」「叱る」を子どもの年齢に応じて変えていくことです。普通は子どもの成長に従って、子どもから親に対応を変えるよう要求が起こります。親はそれに合わせて変えていけばそれで十分です。親がいくら心配しても、苦労しても、子どもはそんなことは知らず「親が思うほど子は思わぬ」ものです。しかし、親の思いが重いことも事実です。いつかは、親の思いは子に通じるものです。子どもの心の成長にとって、親の愛情が重要であることはもちろんですが、親の愛情の基本は夫婦間の愛情でもあると思います。



4日(火)	幼保交流(ぞう・らいおん組)
5日(水)	参観日(こりす組・うさぎ組) ※ぞう組・らいおん組は11:00 降園に なります
6日(木)	参観日(ぞう組・らいおん組) ※こりす組・うさぎ組は11:00 降園に なります
11日(火)	お楽しみ会
13日(木)	避難訓練
14日(金)	スワディ
21日(金)	夏祭り
24日(月)	1学期終業式(11:30 降園)
25日(火) ~8/17(木)	夏季休業



### 《PTA行事費を集めます》

第2期(8~11月分)を集めます。  
1,200円(300円×4ヶ月分)を  
納入袋に入れ、7月3日(月)までに  
納入していただけますようお願いい  
たします。



### ★新しいお友達

7月からこりす組(満3歳児)に  
2名のお友達が入ります。

聡太(そうた)くん  
咲衣(さえ)ちゃん  
仲良くしてね。



## 7月の保育目標



- \*満3歳児
  - \*年少児
  - \*年中児
  - \*年長児
- 喜んで登園し、園生活に慣れる。
  - 夏の生活の仕方を知る。
  - 保育者や友達と夏の遊びを楽しむ。
  - 夏の生活の仕方に気付き、健康に過ごす。
  - 夏ならではの自然に触れて友達と遊ぶ。
  - 興味を通して、思ったことを伝える。
  - 夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす。
  - 夏ならではの自然を取り入れて、友達と一緒に遊びを楽しむ。
  - 友達や保育者に思いを伝えながら、遊ぶ楽しさを味わう。

